

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	江崎グリコ株式会社	事業所名	グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社北本工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	委託業者より定期的実績データを送付してもらうことで排出量を把握 ・積載率UPのための台数変更によるCO2削減効果を毎月確認 ・常温・冷凍・チルド各部門別にCO2削減KPIの確認と各アクションの進捗確認			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	各物流事業者との改善を目的とした定例会や年に1度の全国物流会議の実施 ・常温・冷凍輸送のモーダル率をKPI化し達成に向けて物流事業者と協業 ・荷待ち(アイドリング)を無くすために各工場への接車時間をシステムによって管理			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	物流業者の削減計画・目標の確認を実施 削減計画に則った年間削減目標を設定し月毎の二酸化炭素排出量を算出 CO2排出量は運行日報を基に把握、提出されている			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	委託先への温暖化防止に対する取組み宣言やISO14001、エコアクション21など認証取得の確認を実施			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ( )	従来より全国への配送のため適正在庫拠点に保管場所を業者に委託して運用			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	製品設計における環境配慮として新製品やリニューアル時に検討、実施			○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化                  ( 02 ) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>各物流拠点において他社との共同輸配送・混載取組みを推進</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化                  ( 03 ) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>事前に予定している輸送物量を連絡することで物量に応じた適正な車両確保に努める</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化                  ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>お客様先様からの発注の締め時間を設け、翌日の配送する車両の確保及び配送がスムーズに行われるよう努めてる。また前々日発注を促進しゆとりのあるリードタイムを実現していく</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化                  ( 02 ) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<p>配送ルートの変更及び配送時間をずらすなどにより配送効率の向上に努める</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化                  ( 03 ) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>荷の積み下ろしを迅速的に、計画的に行い、トラックの発着予定時刻の厳守を推進する。事前連絡により出荷がスムーズに行えるように工夫している</p>	○	○	○
<p>06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組                  ( )</p>	<p>各物流拠点を介さず工場より直接お客様様へ配送する取組みを実施</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進                  ( 01 ) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>定期的に開催している物流会議での要請や書面による案内を実施                  自治体による助成金の利用を促し、エコカー導入の促進を図る</p>	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進  (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>定期的に開催している物流会議での要請や書面による案内を実施  接車予約のデジタル化によるアイドリング時間の削減</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進  (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>例年、夏季前に車両調査(サイズ・冷蔵対応・温度記録等)を実施しており、その時期に合わせて低燃費車使用台数を確認項目に組み入れる。2ヶ月に1回、定例会を実施。実施状況を確認</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進  (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>待機場所を利用することで、周辺道路での路上駐車を防止</p>	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用  ( )</p>	<p>物流業務を事業者へ委託することで、物流業務の効率化に努める</p>	○	○	○
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進  ( )</p>	<p>サードパーティーを介して共同輸送を含めたモーダルシフトを推進する。長距離輸送について、極力鉄道や船舶輸送を行なうことでCO2の削減を図る</p>	○	○	○
<p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減  ( )</p>	<p>バース予約システム導入による積込み待ち時間の短縮(アイドリングストップ)</p>	○	○	○